

2016年4月5日

■ デジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」のシステム構築をより柔軟に  
ヤマハ I/O ラック 『RPio222』

－ コンパクトなモデルの追加でさらに柔軟に分散配置システムの構築が可能に、9月発売 －

ヤマハ株式会社は、プロフェッショナルオーディオ機器の新製品として、デジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」用 I/O ラック「RPio622」をコンパクトにまとめた I/O ラック『RPio222』を9月に発売します。

**<価格と発売日>**

品名	品番	価格	発売日
ヤマハ I/O ラック	RPio222	オープンプライス	2016年9月

**<製品の概要>**

当社は、1887年の創業以来、楽器の分野だけでなく音響機器の分野においても革新的な製品を提供してきました。2001年に発売した「PM1D」は、大規模ライブ SR (Sound Reinforcement : コンサート用音響) に特化したフルデジタルコンソールとして、その卓越した音声処理技術、高度な機能性と信頼性により高い評価を獲得し、以後のライブコンサートや劇場における音響システムに大きな変革をもたらしました。そして昨年末、ホール、スタジアム、野外などでの大規模ライブ SR における新世代フラッグシップモデルとなるデジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」の出荷を開始、世界各地の大規模コンサートの現場で稼働がはじまっています。



このたび発売する『RPio222』は、アナログ入力、アナログ出力、デジタル入出力などの「RIVAGE PM10」システム専用カードを装着できる RY スロットなどを備えた I/O ラックです。先行モデル「RPio622」の半分となる 5U サイズを実現し、より設置場所の自由度を高めました。

『RPio222』の追加により、入出力を各所に分散配置するライブサウンドやブロードキャスト、ホールや劇場などでの「RIVAGE PM10」を用いた音響システムの構築が、規模や用途に応じてさらに柔軟に行えるようになります。

詳細は以下の通りです。

**<主な特長>**

## 1. より設置の自由度を高める 5U の高さを実現

『RPio222』は、「RIVAGE PM10」システム専用カードを装着できる RY スロットを 2 基とすることにより、先行モデル「RPio622」の半分となる 5U サイズを実現し、より設置場所の自由度を高めました（「RPio622」の RY スロットは 6 基）。さらに「RPio622」と同様に、フロントパネルには 30 種類を超える各種カードを装着できる Mini-YGDAI スロットを 2 基装備、リアパネルには「RIVAGE PM10」の基幹インフラであるヤマハ専用のネットワークプロトコル TWINLANe に対応した入出力カードと、外部機器との接続用として Dante に対応した入出力カードを装着できる HY スロットを 2 基装備しています。

## 2. 多彩な入出力環境を構築

RY スロットに装着する別売の専用カードとして、「RIVAGE PM10」システムに多彩な入出力環境を構築できる 3 種類の I/O カードを用意しています。16 チャンネルのマイク/ライン入力カード「RY16-ML-SILK」、16 チャンネルのアナログ出力カード「RY16-DA」、16 チャンネルのデジタル入出力カード「RY16-AE」、すべてのカードが 44.1 kHz から 96kHz のサンプリング周波数に対応しています。

中でも「RY16-ML-SILK」は、「RIVAGE PM10」のサウンドに最上級の質感を与える重要なカードです。アナログ段におけるヤマハが一貫して取り組んできた透明感のあるナチュラルサウンドと、デジタル段における Rupert Neve Designs 社のトランスフォーマー回路および SILK プロセッシングより、音楽的な空気感豊かなサウンドを実現できるハイブリッドマイクプリアンプを装備しています。

## 3. より高い信頼性のために電源の二重化にも対応

『RPio222』には 2 台の電源ユニットを内蔵しており、電源の二重化にも標準で対応しています。このため、より高い信頼性が求められる環境下でも安心して使用できます。なお、将来のファームウェアアップデートにより、『RPio222』と「RPio622」をあわせて最大 8 台まで 1 つの TWINLANe ネットワークに接続することができるようになります。

## <主な仕様>

I/O スロット	RY スロット×2、MY スロット×2、HY スロット×2 (TWINLANe, Dante)
コントロール入出力	WORD CLOCK IN/OUT、FAULT OUTPUT
電源電圧	100-240V, 50/60Hz
消費電力	115W
温度範囲	動作温度範囲：0~40℃、保管温度範囲：-20~60℃
寸法 (W×H×D)、質量	480×232×491 mm (ゴム足含む)、19 kg
付属品	取扱説明書、電源コード×2、ユーロブロックプラグ 3pin
オプション (別売品)	RY カード、HY カード、Mini-YGDAI カード *1

\*1: 対応する Mini-YGDAI カードについては、ヤマハプロオーディオのウェブサイトをご参照ください。  
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>

## <参考>

デジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」の詳細はウェブサイトで、導入事例は Facebook で紹介しています。

デジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」製品情報  
[http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/products/mixers/rivage\\_pm10/](http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/products/mixers/rivage_pm10/)

Yamaha Commercial Audio Japan Domestic / ヤマハ コマーシャルオーディオジャパン Facebook  
<https://www.facebook.com/YamahaCommercialAudioJapan/>

Yamaha Commercial Audio グローバルサイト > ニュース (英語サイト)  
[http://www.yamahaproaudio.com/global/en/news\\_events/newsrelease/](http://www.yamahaproaudio.com/global/en/news_events/newsrelease/)



デジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」

写真左より I/O ラック「RPio622」、コントロールサーフェス「CS-R10」、DSP エンジン「DSP-R10」  
(I/O カード等は別売)



### ヤマハ I/O ラック 『RPio222』

2016年9月発売

(I/Oカードは別売)

\*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 広報部 担当：木崎

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト [http://jp.yamaha.com/news\\_release/](http://jp.yamaha.com/news_release/)  
(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA 営業部

プロオーディオ・インフォメーションセンター

TEL 0570-050-808 (ナビダイヤル、全国共通番号)  
(電話受付：祝祭日を除く月～金/11:00～19:00)

ウェブサイト <http://jp.yamaha.com/support/>